

八幡市公共施設等総合管理計画 概要版

1 公共施設等総合管理計画策定の背景と目的

【背景】

公共施設等の多くは建設から相当年が経過し、順次大規模改修や建替えが必要となると見込まれる。

少子高齢化・人口減少等社会環境の変化

厳しい財政状況

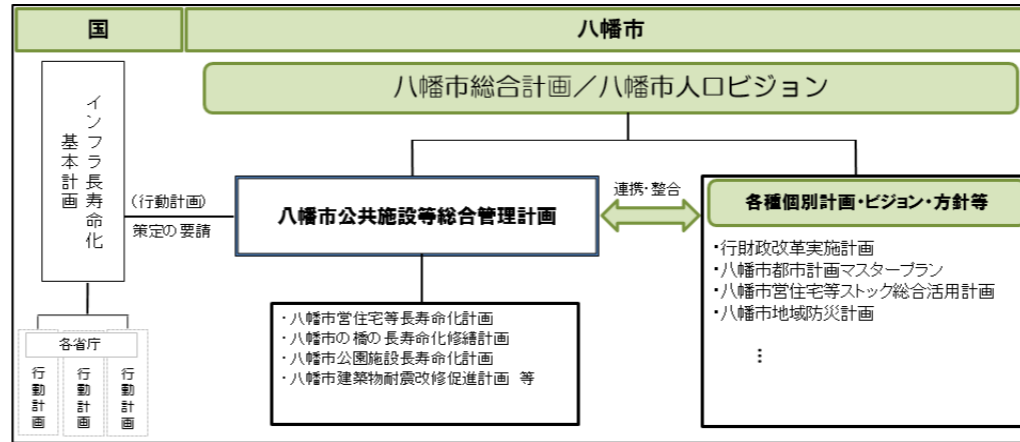
多様化するニーズ

既存の公共施設等を可能な限り有効に活用するとともに、公共施設の適正な配置について客観的なデータをもとに検討する必要がある。

【目的】

持続可能な市民サービスを提供するために、本市の公共施設等の現状と課題を整理し、公共施設等の適正な配置や計画的な保全を推進することを目的に、公共施設等の基本的な方針を定める。

【本計画の位置づけ】



本計画は、国が策定した「インフラ長寿命化基本計画」及び「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」に沿って策定する。

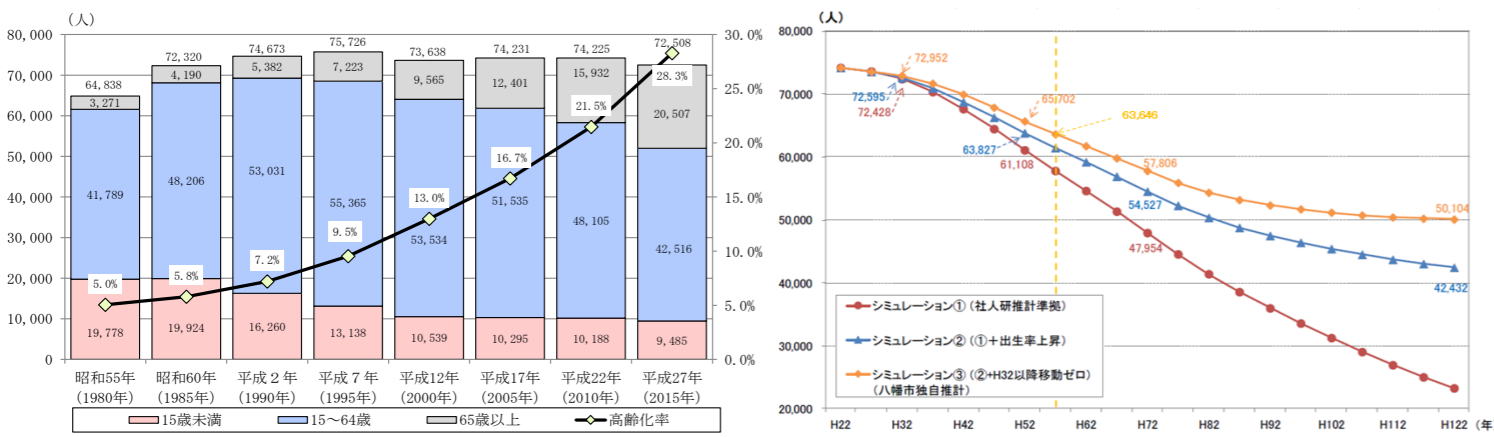
また、「八幡市総合計画」に即するとともに、「八幡市都市計画マスタープラン」など各種計画・ビジョン・方針等との整合を図る。

【計画期間】

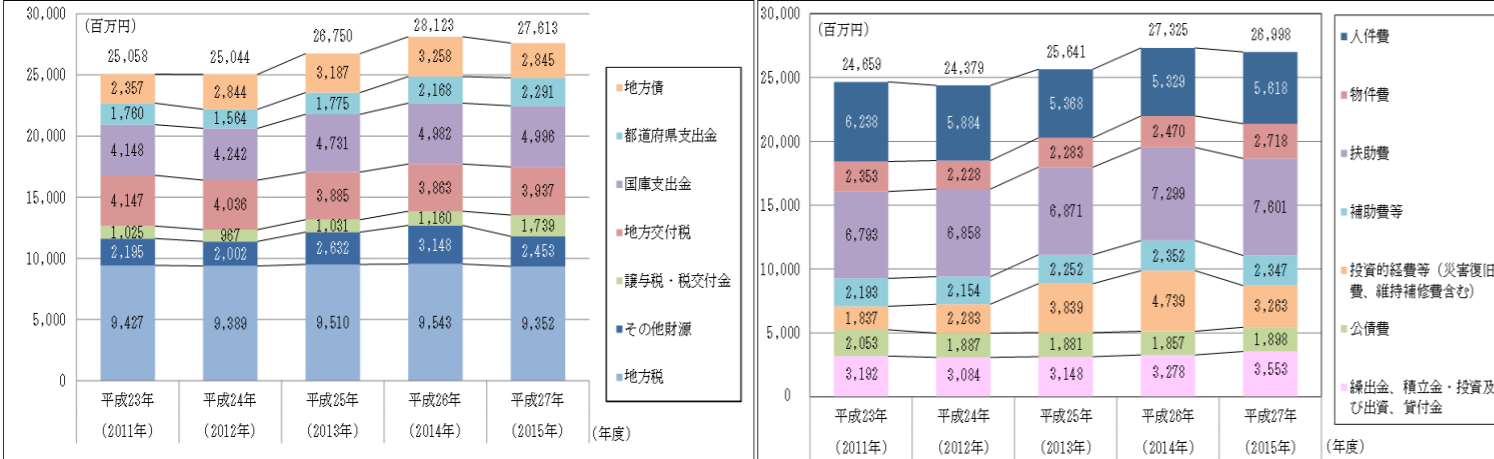
平成29年度から平成58年度までの30年間
概ね10年ごとに見直しを行う。

2 本市の概況

【人口推移と将来の見通し】



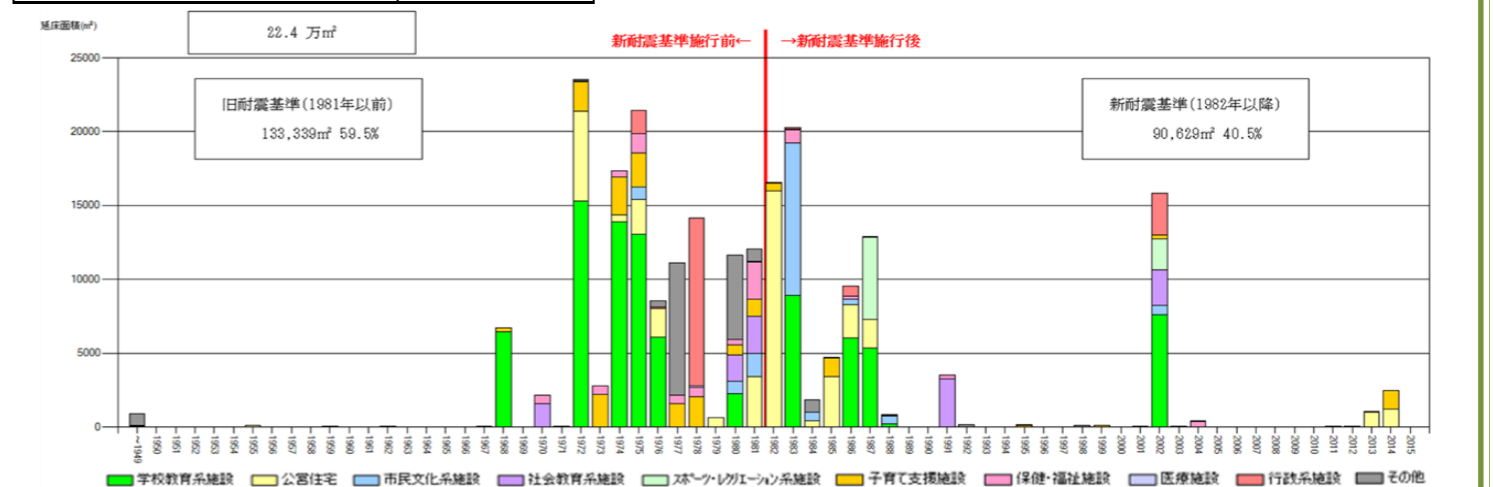
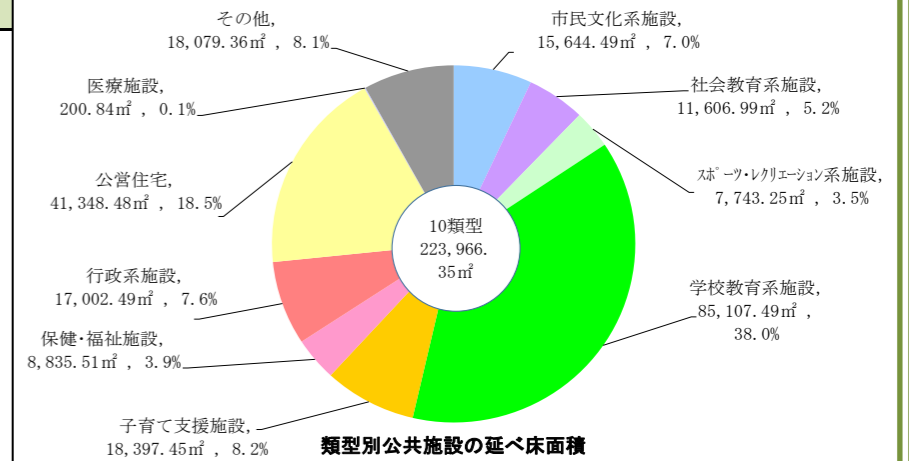
【財政状況】



3-1 公共施設等に関する現状

【本計画の対象範囲】

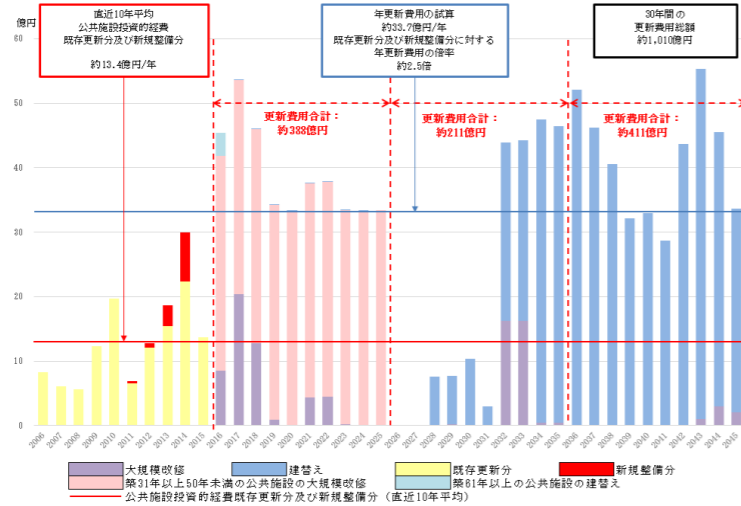
公共施設	インフラ施設
市民文化系施設 社会教育系施設 スポーツ・レクリエーション系施設 学校教育系施設 子育て支援施設 保健・福祉施設 行政系施設 公営住宅 医療施設 その他	道路 橋りょう 上水道施設 下水道施設 公園 河川
計163施設 223,967㎡	



3-2 公共施設等の将来の更新費用試算

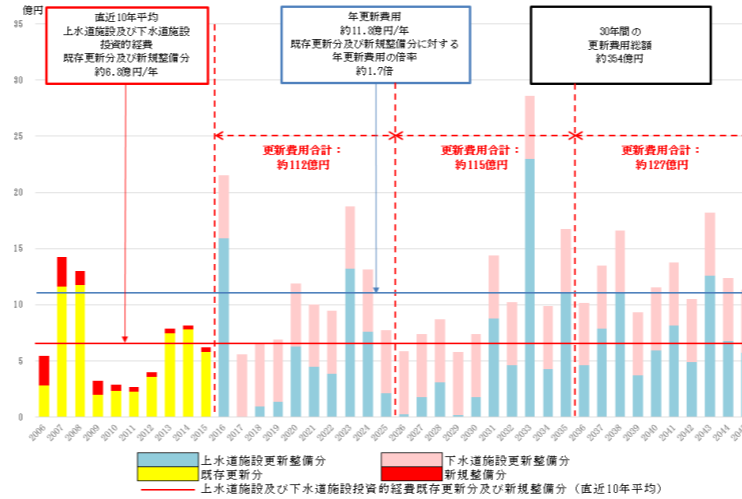
今後30年間、公共施設及びインフラ施設をそのまま保有し続けることを前提として、公共施設等更新費用試算ソフト等により更新費用を試算した。

公共施設は、今後30年間で総額約1,010億円、年平均約33.7億円となり、直近10年平均の投資的経費と比較すると1年あたり約2.5倍の費用がかかる推計結果となった。



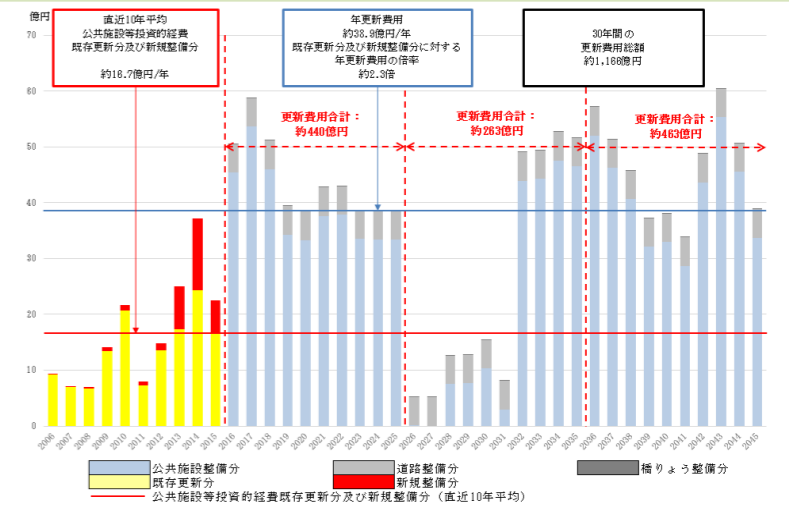
(将来の公共施設の更新費用推計)

上下水道施設は、今後30年間で総額約354億円、年平均約11.8億円となり、直近10年平均の投資的経費と比較すると1年あたり約1.7倍の費用がかかる推計結果となった。



(将来の上下水道施設の更新費用推計)

公共施設とインフラ施設のうち道路、橋りょうを合すると、今後30年間で総額約1,166億円、年平均約38.9億円となり、直近10年平均の投資的経費と比較すると1年あたり約2.3倍の費用がかかる推計結果となった。



(将来の公共施設及び道路、橋りょうの更新費用推計)

4 公共施設等全体の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針

【本市の公共施設等を取り巻く現状と課題】

	現状	課題
公共施設等の状況	<ul style="list-style-type: none"> ●老朽化・耐震性能が懸念される ●インフラ施設についても老朽化・耐震性能への対策が必要になる 	<ul style="list-style-type: none"> ●公共施設保有量の見直し ●老朽化・耐震化への対応 ●インフラ施設のうち長寿命化計画等が未策定の施設については策定が必要
人口推移	<ul style="list-style-type: none"> ●人口減少が進行 ●少子高齢化が進行 	<ul style="list-style-type: none"> ●人口減少、少子高齢化を見据えた公共施設のあり方の見直し
財政状況	<ul style="list-style-type: none"> ●人口減少に伴う歳入減少 ●高齢化の進行等による扶助費の増加 ●公共施設等の新規整備に係る財源や、大規模改修や修繕、耐震化に係る財源を十分に確保することが非常に厳しい状況になっている 	<ul style="list-style-type: none"> ●効率的な行政運営の実施 ●公共施設等の維持管理コストの削減

【公共施設等の管理に関する基本方針】

基本方針
①市民サービスのあり方の見直し ②本市が保有・管理する公共施設の総量の適正化 ③庁内外の経営資源の活用

今後30年間で公共施設総量を12.2%（延べ床面積ベース）削減することを目標とする。

インフラ施設については、市民生活の基盤となるため削減目標は掲げず、保有量の適正化に努める。

5 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針

【公共施設】

市民文化系施設 <ul style="list-style-type: none"> ●効率的な管理運営や利用率の向上につながる方策を検討する ●計画的に修繕等を進め、維持管理コストの低減、使用年数の延長を図る ●中長期的な改修計画を策定し、長寿命化対策を行う
社会教育系施設 <ul style="list-style-type: none"> ●効率的な管理運営を行うための手法を検討する ●計画的に修繕等を進め、維持管理コストの低減、使用年数の延長を図る ●利用者数増加に向けた取組みを推進する
スポーツ・レクリエーション系施設 <ul style="list-style-type: none"> ●長寿命化計画に従い計画的に修繕等を進め、維持管理コストの低減、使用年数の延長を図る ●効率的な管理運営を行う
学校教育系施設 <ul style="list-style-type: none"> ●計画的に修繕等を進め、維持管理コストの低減、使用年数の延長を図る ●閉鎖施設については、活用を協議・検討する
子育て支援施設 <ul style="list-style-type: none"> ●平成29年度「子ども・子育て会議」の答申をもとに就学前施設の再編を推進する ●計画的に修繕等を進め、維持管理コストの低減、使用年数の延長を図る ●都児童センターは、他の施設との複合化や再編整備を推進する

子育て支援施設（続き） <ul style="list-style-type: none"> ●子育て支援センターの施設配置について検討する
保健・福祉施設 <ul style="list-style-type: none"> ●耐震診断・耐震補強が未実施の施設は、必要性を考慮し実施を検討する ●計画的に修繕等を進め、維持管理コストの低減、使用年数の延長を図る ●効率的な管理運営を行うための手法を検討する ●利用者数増加に向けた取組みを推進する ●複数の公共施設が隣接している地域は、公共施設のあり方を検討する
行政系施設 <ul style="list-style-type: none"> ●市役所（本庁舎）は、現在地での建替えの方向で検討する ●消防庁舎は、施設の長寿命化及び水害時の対策を検討する
公営住宅 <ul style="list-style-type: none"> ●長寿命化計画等に基づいた、総戸数となるように計画する
医療施設 <ul style="list-style-type: none"> ●効率的な管理運営を行うための手法を検討する
その他 <ul style="list-style-type: none"> ●旧八幡第四小学校、旧八幡第五小学校、及び旧八幡東小学校体育館については、新たな活用を行うのか、あるいは処分（売却、譲渡、除却等）するのを含めて検討する

【インフラ施設】

道路 <ul style="list-style-type: none"> ●必要性を吟味したうえで整備を行う ●ライフサイクルコストの削減を目指して点検・診断・保全を行い、安全確保に努める
橋りょう <ul style="list-style-type: none"> ●長寿命化修繕計画に基づき計画的に修繕・更新を行う
上水道施設 <ul style="list-style-type: none"> ●適切な点検・診断・保全を行うとともに、水道ビジョン等の計画に基づき適正な維持管理に努める
下水道施設 <ul style="list-style-type: none"> ●長寿命化計画に基づき計画的に修繕・更新を行う
公園 <ul style="list-style-type: none"> ●長寿命化計画に基づき計画的に修繕・更新を行う
河川 <ul style="list-style-type: none"> ●ライフサイクルコストの削減を目指し、効果的かつ効率的な管理運営に努める